

後期難波宮の内実

日時

令和元年 6月22日 土

午後1時30分～3時(受付は1時～)

聖武天皇によって造営された後期難波宮・京とは、どのような都であったのでしょうか。多くの建物が立ち並び、条坊の街路が整えられた壮麗・絢爛な宮・京であったとされていますが、果たしてどうであったのでしょうか。わずかな手掛かりをもとに、この問題に取り組んでみたいと思います。



講師

栄原永遠男 館長

会場

大阪歴史博物館 4階 講堂

定員

250名(当日先着順・直接会場にお越し下さい)

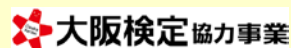
参加費

200円 ※キャンパスメンバーズ会員校の方は、証明証提示により本講演会に無料で参加できます。

問合せ

大阪歴史博物館 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

TEL:06-6946-5728 FAX:06-6946-2662

ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

【予告】特集展示「新発見! なにわの考古学2019」

令和元年10月16日(水)～令和2年1月6日(月)

休館日:火曜日(10/22は開館、10/23は閉館)、年末年始(12/28～1/4)

開館時間:午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

会場:大阪歴史博物館 8階 特集展示室

観覧料:常設展示観覧料でご覧になれます。

大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)

※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

主催:大阪歴史博物館、一般財団法人 大阪市文化財協会

地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②・⑨号出口
シティバス「馬場町」バス停前